

監査委員告示第 5 号

地方自治法第 199 条第 2 項の規定により、平成 27 年度行政監査を実施しましたので、
同条第 9 項の規定によりその結果を公表します。

平成 27 年 11 月 24 日

上田市監査委員 小池 俊一

同 井沢 信章

平成 2 7 年度行政監査結果

上田市監査委員

1 監査のテーマ

外部団体に属する現・預金等の市職員による管理について

2 監査の目的

職務に関連し、外部団体に属する現金等（現金、預貯金、有価証券）を職員が事務管理する事例が見受けられることから、あらためて全庁的な実態にあたり、公金に準じこれらの管理が適正に行われているかを監査します。

3 主たる着眼点

- (1) 外部団体に属する現・預金等を市職員が管理する現況はどうか
- (2) これらの取扱いは公金に準じ適切に行われているか

4 監査の対象

(1) 対象事案

ア 外部団体に属する現金等（現金、預貯金、有価証券）を市職員が管理する事例について、主に次の事項。（複数年に渡り運営が継続する団体に係るものを対象）

- (ア) 対象事例数、関与する職員数
- (イ) 出納及び現金等の管理体制

(2) 対象部課

上記該当事例がある全部局

(3) 基準日

平成27年5月1日現在

5 監査の方法

(1) 定例監査等基本調書に基づく書類監査

(2) 現・預金等の管理の実態を把握するための実地調査

ア 実地調査の実施日（平成27年10月6日～10月15日）

イ 対象課所（6所属 37団体）

- * 生活環境部 生活環境課 8団体
- * 農林部 森林整備課 4団体
- * 丸子地域自治センター 産業観光課 6団体
- * 真田地域自治センター 産業観光課 7団体
- * 武石地域自治センター 産業建設課 7団体
- * 教育委員会 生涯学習課 5団体

ウ 監査の方法

現・預金等の管理体制に係る実状聴取及び出納簿、預金通帳等の閲覧

6 監査の期間

平成27年5月25日 ～ 平成27年11月15日

7 監査の意見

外部団体の会計事務は、基本的には各団体において自らが現・預金等を取り扱い、市は補助的な役割に徹するべきものと考えられます。しかしながら、職務の関係上、市の歳入歳出である公金に属さない外部団体に属する現・預金等を職員が取り扱う事例が多くなっています。

この外部団体に属する現・預金等の取り扱いについては地方自治法及び市財務規則の適用がなく、監査委員が定期的に行う財務事務監査や会計管理者の審査を受けない現状にあります。

市職員が会計事務を行う場合には、その必要性を充分検証するとともに、事務の遂行にあたっては公金と同様の透明性を確保した適正な執行が求められています。

(1) 職員が行う会計事務を指導する統括部署の明確化について

適正な事務処理体制の確保を目的として外部団体の現・預金等の事務を指導する統括部署を明確化し、対象団体を把握の上、内部統制面から統率を図る必要があると考えます。

(総務課)

(2) 職員が事務を取り扱う場合の統一的な基準等の策定について

事務処理における統一的な基準等は、実際の事務の流れを明確にし、会計の適切な運用を図る上で必要不可欠なものであることから、早期の策定が必要と考えます。

(総務課、行政改革推進室、会計課)

(3) 出納検査の実施について

基準等に基づく適正な会計の事務処理体制を維持するため、他部署による定期的な出納検査を実施する必要があると考えます。

(総務課、行政改革推進室、会計課)

8 監査の結果概要

(1) 職員が従事する外部団体数、会計事務への関与等の状況について

・各部局で、職員が継続的な活動を行う関係団体の運営について、事務局や役職員の地位等により関与している外部団体数は、162団体(44所属)ありました。

・このうち市職員が会計事務(収入・支出を取扱い、通帳等を管理する事務)に関与する団体は、別表のとおり108団体(35所属)ありました。関与の最も多い部局は「教育委員会」の32件(29.6%)、続いて多い部局は「農林部」、「都市建設部」及び「真田地域治センター」の各10件(9.3%)となっています。

・同一所属内で各団体間を兼務する職員の重複を整理し、会計事務に関与する実人数は153人でした。実人数のうち正規職員の関与は140人ですが、再任用職員、嘱託職員及び臨時職員の関与もわずから見られます。

・通帳の保管数を見ると一般会計のほか特別会計等を設置し通帳を複数保有する必要から通帳の総合計は、140件ありました。最も通帳の保管数が多い部局は「教育委員会」37件(26.4%)ですが、「生活環境部」15件(10.7%)のうち、生活環境課が管理する上田市浄化槽維持管理組合は8件の通帳を保有し全団体のうち最も多く保管する状況にあります。

(単位：件・%)

部局名	所属数	外部 団体数	構成比	会計事務への関与団体及び関与職員数				通帳 保管数	構成比	
				有	構成比	職員数	構成比			無
秘書課	1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0.0
政策企画部	6	10	6.2	5	4.6	11	7.2	5	5	3.6
総務部	4	3	1.9	2	1.9	6	3.9	1	4	2.9
財政部	4	1	0.6	1	0.8	1	0.7	0	1	0.7
市民参加協働部	3	3	1.9	1	0.8	3	2.0	2	2	1.4
生活環境部	4	8	4.9	8	7.4	10	6.5	0	15	10.7
福祉部	5	4	2.5	2	1.9	4	2.6	2	4	2.9
健康子ども未来部	4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0.0
商工観光部	4	7	4.3	6	5.6	13	8.5	1	7	5.0
農林部	3	17	10.5	10	9.3	15	9.8	7	15	10.7
都市建設部	6	10	6.2	10	9.3	5	3.3	0	11	7.9
消防部	9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0.0
上田地域自治センター	3	5	3.1	3	2.8	2	1.3	2	3	2.1
丸子地域自治センター	4	23	14.2	7	6.5	11	7.2	16	10	7.1
真田地域自治センター	4	20	12.3	10	9.3	14	9.2	10	13	9.3
武石地域自治センター	4	13	8.0	9	8.3	8	5.2	4	11	7.9
会計管理者組織	1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0.0
上下水道局	7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0.0
議会事務局	1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0.0
教育委員会	24	36	22.2	32	29.6	47	30.7	4	37	26.4
その他行政委員会等	4	2	1.2	2	1.9	3	1.9	0	2	1.4
合 計	105	162	100.0	108	100.0	153	100.0	54	140	100.0

(2) 現金による収支事例の状況について

・収入金及び支出金を口座振込ではなく現金で扱う事例がある団体は、92件(85.2%)あります。

(単位：件・%)

現金による収支の状況	件数	構成比
有	92	85.2
無	16	14.8
合計	108	100.0

・現・預金等の管理の実態を把握するため実地調査した37団体のうち、職員による立替払が9件(24.3%)見られました。

・立替払は、即応性があり容易な手法ですが、領収書を紛失すれば救済不能になることや私金との区別が不明確になる恐れがあります。なお、立替払は公金では取り扱うことはできません。

(単位：件・%)

立替払による支出(実地調査分)	件数	構成比
有	9	24.3
無	28	75.7
合計	37	100.0

(3) 出納簿の状況について

・出納簿(準ずる帳簿)は、収支の状況や金銭の使途を明らかにするものですが、1件を除き整備されている状況にあります。この1件については、県からの補助金の受入先として指定されているだけで、通常の収支は団体で管理している通帳で行っています。

(単位：件・%)

出納簿の状況	件数	構成比
有	107	99.1
無	1	0.9
合計	108	100.0

(4) 定期的な出納確認の状況について

・会計事務を行う上で定期的な出納確認を行っているものは、80件(74.1%)ありました。出納確認の頻度を見ると、毎月行っているもの、半年ごとに行っているもの及び定期総会前等に行っているもの等があり統一されていません。確認の方法も、出納簿と預金通帳との残高照合のほかに、収入及び支出の際に行う調定書や支出命令書の決裁をもって出納確認としている事例も見られ、統一が図られていません。

(単位：件・%)

出納確認の状況	件数	構成比
有	80	74.1
無	28	25.9
合計	108	100.0

(5) 保有通帳のキャッシュカードの利用状況について

・ 保管する通帳140件すべてにおいてキャッシュカードは作成されていませんでした。

(単位：件・%)

キャッシュカードの状況	件数	構成比
有	0	0.0
無	140	100.0
合計	140	100.0

(6) 保有通帳の保管場所(実地調査した37団体)について

・ 現・預金等の管理の実態を把握するため実地調査した37団体のうち、事務室内金庫、鍵付きの机及び鍵付きの書庫といった鍵のかかる場所に保有通帳を保管している件数は33件(89.2%)でした。

(単位：件・%)

保管場所	件数	構成比
事務室内金庫	25	67.6
鍵付きの机	2	5.4
鍵付きの書庫	6	16.2
鍵無しの机	4	10.8
鍵無しの書庫	0	0.0
合計	37	100.0

(7) 通帳届出印の保管場所(実地調査した37団体)について

・ 現・預金等の管理の実態を把握するため実地調査した37団体のうち、通帳届出印は保有通帳に比べて鍵無しの保管場所の割合が多い傾向が見られます。

(単位：件・%)

保管場所	件数	構成比
事務室内金庫	2	5.4
鍵付きの机	19	51.4
鍵付きの書庫	4	10.8
鍵無しの机	12	32.4
鍵無しの書庫	0	0.0
合計	37	100.0

(8) 保有通帳及び通帳届出印の保管状況(実地調査した37団体)について

・ 保有通帳及び通帳届出印の保管は、33件(89.2%)が別に保管されていました。同一に保管されていた4件(10.8%)は、同一の書庫の中にある手提げ金庫ではそれぞれ別に保管されています。

(単位：件・%)

保管状況	件数	構成比
同一に保管	4	10.8
別に保管	33	89.2
合計	37	100.0

(9) 調定書及び支出命令書の作成状況(実地調査した37団体)について

・現・預金等の管理の実態を把握するため実地調査した37団体のうち、36団体(97.3%)で調定書及び支出命令書の作成は見られました。作成のない団体は、行政伺等による決裁を受けています。しかしながら様式に差異があり統一が図られていません。

・現金による収入金がある場合で、調定書に領収書控え等の添付がない事例が見られました。

(単位:件・%)

作成状況	件数	構成比
有	36	97.3
無	1	2.7
合計	37	100.0

(10) 調定書及び支出命令書の最終決裁者の状況(実地調査した37団体)について

・現・預金等の管理の実態を把握するため実地調査した37団体のうち、36団体(97.3%)で課長決裁又は課長決裁後に会の代表者まで決裁されていました。

(単位:件・%)

最終決裁者の状況	件数	構成比
会の代表者	10	27.0
課長	26	70.3
係長	1	2.7
合計	37	100.0

(別表) 市職員が会計事務に關与する外部団体一覧

No.	部局名	所属名	外部団体名
1	政策企画部	シティープロモーション推進室	大河ドラマ「真田丸」上田市推進協議会
2			上田市にラクビーワールドカップ2019キャンプ地を誘致する会
3		交通政策課	上田市公共交通活性化協議会
4			別所線電車存続期成同盟会
5		上田市立美術館	子どもアトリエ実行委員会
6	総務部	総務課	上田市職員互助会
7			長野県市町村職員退職者連盟上田支部
8	財政部	税務課	上田地区税務協議会
9	市民参加協働部	市民課	上田市多文化共生推進協会
10	生活環境部	生活環境課	上田市安全会議
11			上田市防犯協会
12			うえだ環境市民会議
13			信濃川を守る協議会 上田ブロック
14			上田市河川愛護会連合会
15			上田市浄化槽維持管理組合
16			環境衛生協議会
17			うえだ環境フェア実行委員会
18	福祉部	福祉課	上田市民生委員・児童委員協議会
19			日本赤十字社長野県支部上田地区
20	商工観光部	雇用促進室	上田勤労者互助会
21		観光課	上田観光コンベンション協会
22			上小温泉協会
23			真田街道推進機構
24			信州上田まつり実行委員会
25			新幹線上田駅観光案内所運営委員会
26	農林部	農政課	上田農業青年会議
27			上田市農業技術者連絡協議会
28			上田農業再生協議会
29			上田市農業支援センター運営委員会
30			上田市家畜防疫協会
31			上田市地産地消推進会議
32		森林整備課	上田市有害鳥獣駆除対策協議会
33			上小広域有害鳥獣対策協議会
34			森の学校実行委員会
35			長野県緑の基金
36	都市建設部	管理課	上田駅前ビルパレオ管理組合法人
37			国道18号上田バイパス第二期工区建設促進期成同盟会
38			上田依田窪連絡道路建設期成同盟会
39			上田・真田連絡道路改良促進期成同盟会
40			主要地方道別所丸子線改良促進期成同盟会
41			主要地方道小諸上田線改良促進期成同盟会
42			県道上室賀坂城停車場線改良促進期成同盟会
43			県道真田新田線改良促進期成同盟会

No.	部局名	所属名	外部団体名
44	都市建設部	管理課	主要地方道丸子信州新線整備促進期成同盟会
45			長野県道路整備期成同盟会、長野県河川協会、長野県治水砂防協会
46	上田地域自治センター	塩田地域自治センター	塩田地区自治会連合会
47			塩田地区社会福祉協議会
48			塩田地区振興会連絡協議会
49	丸子地域自治センター	市民サービス課	上田市丸子地区赤十字奉仕団
50		産業観光課	丸子観光協会
51			丸子工業振興会
52			上田農業再生協議会
53			陣場台地研究委員会
54			丸子地域農業者年金協議会
55			上小獵友会丸子支部
56		真田地域自治センター	地域振興課
57	市民サービス課		真田共同参画ネットワーク
58			日本赤十字社長野県支部上田市地区（真田）
59	産業観光課		真田地区営農活性化委員会
60			真田地域農業者年金協議会
61			菅平・湯の丸地区山岳遭難防止対策協会
62			長野県学習旅行誘致推進協議会真田支部
63			根子岳・四阿山保全協議会
64			菅平高原を美しくする会
65			真田まつり実行委員会
66	武石地域自治センター		市民サービス課
67		日本赤十字社長野県支部上田市地区（武石）	
68		産業建設課	武石地区営農活性化委員会
69			よだくぼ南部営農センター武石地区推進委員会
70			上田農業再生協議会
71			武石地区農業者年金協議会
72			武石観光協会
73			信州うえだ武石夏祭り実行委員会
74			上小獵友会武石支部
75		教育委員会	教育総務課
76	上田市育英会		
77	学校教育課		上田市PTA連合会
78	生涯学習課		上田市人権啓発推進委員会
79			上田市企業人権教育連絡会
80			上田地域解放子ども会指導委員会
81			上田市解放子ども会交流合同研修会実行委員会
82			上田市子ども会育成連絡協議会
83	中央公民館		文化創造祭実行委員会
84			短詩形文学祭実行委員会
85			高齢者生きがい促進委員会
86	上野が丘公民館		上野が丘福寿クラブ
87			上野が丘地区住民スポーツ大会事業実行委員会

No.	部局名	所属名	外部団体名
88	教育委員会	上野が丘公民館	上野が丘公民館利用者団体連絡協議会
89		塩田公民館	塩田地区体育部長会
90			塩田地域学校支援運営協議会
91			塩田地区高齢者連絡協議会
92			塩田公民館利用者団体連絡協議会
93		上田図書館	上小・東御図書館協会
94		文化振興課	うえだ城下町映画祭
95			シリーズ文化講演会
96			上田市文化少年団
97			上田薪能を観る会
98		上田市立博物館	上小郷土研究会
99		スポーツ推進課	上田古戦場ハーフマラソン実行委員会
100		丸子地域教育事務所	丸子育英会
101			上田市体育協会丸子体育協会
102		真田地域教育事務所	真田町文化協会
103		武石地域教育事務所	武石地域解放子ども会
104			武石地域花壇・育成会連絡協議会
105			武石地域青少年健全育成連絡協議会
106			武石おねり保存会
107		農業委員会	農業委員会
108	上田地域農業者年金協議会		

9 監査に基づく提案事項

外部団体の会計を処理する統一的な基準等の作成にあたり、盛り込むべきと考える主な項目は次のとおりです。

(1) 通帳、届出印の保管場所について

ア 通帳、届出印は鍵のかかる金庫等でそれぞれ別に保管する。

(2) 収入事務について

ア 収入がある場合は、調定書を作成し所属長、団体の長の決裁を受ける。このとき、収入の根拠となる帳票類（特に現金収入で領収書を発行する場合は領収書の控）を添付する。

イ 収入金は原則として口座振替とする。

(3) 支出事務について

ア 支出がある場合は、支出命令書を作成し所属長、団体の長の決裁を受ける。このとき、支出の根拠となる請求書等の関係書類を添付する。

イ 職員による立替払は原則として禁止し、必要がある場合には資金前渡による方法で支出した後、に精算を行う。

ウ 支出金は原則として口座振替とする。

(4) 会計帳簿類について

ア 次の会計帳簿類を備える。

- ・ 調定書
- ・ 支出命令書
- ・ 出納簿
- ・ 切手等受払簿

イ 会計帳簿類の保存年限は、市文書規定による5年を基本とする。

(5) 定期的な出納確認について

ア 所属長は、最低毎月末に現金・預金残高、会計帳簿類、証拠書類と照合して確認した旨を記録する。